

「情熱」「行動力」「アイデア」の新しい風で、みなさんと一緒にまちづくり



清流だより

第16号

令和5年5月1日発行

もっと
南木曽を元気に!

日々の活動の様子は
「向井ひろあきブログ」
「町HP 町長の部屋」で
発信中 ⇨



【討議資料】

発行責任者：向井ひろあき後援会 木村左右和
連絡先：南木曽町読書2740の2 電話 0264(57)2475



大学の先輩にあたる谷公一防災大臣
(国家公安委員長兼務)を表敬訪問



地元選出代議士の後藤茂之
経済再生大臣に要望活動の折

河村たかし名古屋市長と
木曽三川サミットで



大畑長野県議らと林野庁長官を訪問の折



佐藤飯田市長や下伊那町村長と財務省へ要望

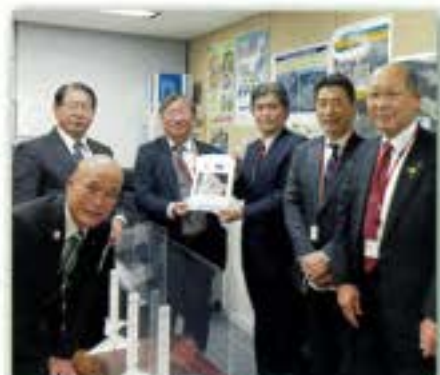


木曽郡町村長で国交省道路局長へ要望活動



阿部知事との県民対話集会で参加者の皆さんと

木曽南部直轄砂防協議会で
砂防部長へ陳情



青山中津川市長と共に
中津川選出の
平岩岐阜県議会議員に
道路の陳情



SL化粧直しイベント



知事が和紙の家視察の折に
近所の皆さんと



令和4年度町表彰式



蘇南校生のお弁当コンクール
入賞報告で



令和5年出初式



南木曽中女子バレー部
県大会出場激励



川向区集会所広場完成式で



小学生木工コンクール表彰式



新春のろしあげに参加



名古屋県吹会祭りに参加の
与川神楽の皆さんと



町民マレットゴルフ大会



【コロナとの共生社会に】 待ったなしの人口減少対策を

寒い日が続いた冬も3月を迎えると途端に暖かくなり、桜も3月末という異例の早さで満開となりました。皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。日頃は後援会活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。コロナ禍で思うような活動ができなかった後援会活動も徐々に再開となりますので、ご意見・ご提案などあれば気軽に本人または役員にお願いします。

令和5年 春

後援会長 木村左右和



コロナはワクチンの普及や重症患者が減ったことから国では法的な位置づけを変えることになり、少しずつ以前の生活が戻ってきます。町では、これまでに対策本部（本部長：町長）を70回以上も開催して予防と対策に努めてきましたが、幸い死者も出ず集団感染も最小限となりえたのも皆様のご協力の賜にほかなりません。コロナ対応にあたって、町民の皆さんや町内事業所に大変なご苦労とご協力を頂いたことに深く感謝を申し上げます。

落ち込んだ地域経済を取り戻せるよう、また衰退したコミュニティの回復に全力を尽くしていきます。

令和5年度では下記の通り、コロナ禍で深刻な状況になっている人口減少対策ははじめ各種施策について積極的に取り組んでいきます。

《主な事業や新規事業、検討中の取り組みから》

- ・奨学金返済支援制度の創設
- ・給食費など学校徴収金はじめ子育て負担軽減策（一部実施、追加検討中）
- ・こども園、放課後子ども教室の運営充実
- ・親子ふれあい公園整備
- ・サテライトオフィス整備による外部居住者への呼びかけ
- ・空家実態調査による空家活用対策、空き店舗整備に補助
- ・宅地希望者のためのミニ宅地（準備中）
- ・デイスサービスのボイラー修繕
- ・デマンドタクシーの拡充（吾妻、田立地区での検討）
- ・バス路線の経路変更（県事業による市民病院線の確保）
- ・与川水道施設統合工事
- ・木曽川整備工事（沼田）、256号漆畑改良工事、木曽川右岸道路高瀬橋架替工事、柿其大桑堤トンネル工事、川向田立区間の路線決定、中津川南木曽線、中津川田立線改良工事（いずれも県事業）
- ・地蔵沢、桂川砂防堰堤工事（いずれも国事業）
- ・妻籠宿防災管取替工事
- ・園場耕作条件改善事業
- ・熊皮剥対策
- ・サル捕獲用大型檻継続設置、猟友会支援
- ・あすなろ荘、観光協会、チャレンジクラブへの職員派遣
- ・町道妻籠町中線、前沢橋修繕、蘭広瀬線舗装工事
- ・物価高騰対策 などなど

このほかにもあります。

詳細は町 HP（施政方針）で確認を。

http://www.town.nagiso.nagano.jp/list/administration/index_mayor_2.html



◎国道19号の雨量規制緩和を

大雨や大雪の度ごとに町内の交通が寸断されています。普段の生活ではもちろんの事、災害時やリニア開通後の町づくりを見据えた時に、19号ははじめ幹線道路の整備は欠かせません。19号は長野県境にさしかかる付近から途端に状況が悪くなっており雨量規制（※）もかかっています。木曽川右岸道路とのダブルネットワーク構想も含めて、県境付近の抜本的な改良や規制解除に向けた整備に向けて、郡内同盟会や中津川市などと共に国県への働きかけを積極的に進めます。右岸道路も大桑村～柿其間のトンネル工事や高瀬橋架け替え工事、川向～田立間のルート策定を確実に促進していきます。256号（漆畑拡幅）、中津川田立線（県境区間）、中津川南木曽線（下り谷）などの大型工事も順調に進んでいます。幹線道路と合わせて町道も必要に応じて積極的に改良を進めていきます。

（※）国道19号の吾妻橋～妻籠の間は連続雨量150ミリ以上で通行規制となっており、一昨年5月と8月には通行止となり生活に支障をきたしました。国へ実情を訴える中で、吾妻橋～田立の間の防災工事が終了したのを受け、今季から当面地元車は210ミリまで通行が可能となります。引き続き解除に向けた整備を強く訴えていきます。

◎子育て支援・教育の充実

昨年なぎそこども園が開園しました。長年の懸案であった保育所問題を子ども園という新たな形でスタートすることができ、関係者のご苦労とご協力で改めて感謝申し上げます。コロナ禍で一気に出生数が減り、南木曽町も例外ではありません。回復に向けては、更なる子育て支援と教育の充実が欠かせない状況です。これまでも様々な支援をしてきていますが、給食費補助の大幅な引上げ（7割程度）や、町内

居住の若者に奨学金返済支援などの施策を始めます。子育て世代包括支援センターや放課後子ども教室など見守り体制の充実にも努めていきます。

◎リニア対策の推進

リニア中央新幹線工事については、今の段階で様々なリスクを解決しておくことが地域の安心となり今後の利活用に大きく繋がっていきます。水道水源に対する予備的措置として256号沿線での水道管工事を実施中ですが、さらに必要な工事や作業に取りかかっています。発生土置き場についても現在町が窓口となり、一定の理解を得られるような計画となるよう交渉を進めています。協議も本格化する中で、地域にとっても将来に活かせる対応策を見出すと共に、「リニア活用基本構想」の具体的な取り組みについても皆さんの声が活かせるように作業を本格化させて進めていきます。

◎物価高騰への対応

物価高騰が続く中、町としてできる対策を実施していきます。

【後記】 マスクを外す機会が増えてきました。予防には努めながらも社会経済活動が戻ることを願うばかりです。今年の桜も異常に早い満開となりましたが、気候変動対策に誰もが関心を払わなければならない時代となりました。「もっと南木曽を元気に」できる町づくりとなるよう後援会も応援していきます。皆様のご健勝をお祈りすると共に引き続き後援会へのご支援をお願い致します。（事務局）

*後援会加入希望は、お近くの役員又は事務局まで。